

Using Evidence

A) 本課のねらい

これまで学んだ内容で、身近な事柄についてディベートをすることは可能です。本課では、リサーチの必要なトピックで試合の出来るように、証拠の使い方を学びます。まずは直接引用の仕方を学び、次にグラフなども用いた間接引用の仕方を導入します。

B) 指導の流れ

Section 1. Direct Quotation (直接引用) 15分程度 + 20分程度

【Step 1 ～ Step3】

- ① 教科書 p.35 [Step1]を開かせ、選択肢を読む時間を与えます。選択肢には、no information (情報無し) という項目があることに気をつけさせて下さい。
- ② p.35のスピーチスクリプトを教員が1回読みます。
- ③ 近くの生徒と解答を比べさせます。教員がもう1度読みます。
- ④ 解答を確認します。
- ⑤ [Step 2]の部分を用いて、直接引用に関するルールを説明します。また、p.34を見せ、証拠カードの書き方も説明します。
- ⑥ [Step3]の先ほど聞いたスピーチの証拠部分を、p.34の証拠カードを参照して訂正させて下さい(リスニング問題の、no information だった情報を補わせます)。

【Step 4 ～ Step6】

- ① これまでに書いた立論を1つ用意させます。
- ② p.36の証拠カードのコピーを1枚配ります。
- ③ 自分の書いたスピーチに合う証拠を、今回は練習として想像して作らせ、証拠カードを作成させます。
- ④ 証拠カードをペアで交換させ、書き方のルールに従っているか確認させます。
- ⑤ 数人の生徒から教員がカードを借り、書画カメラで写し正しくカードが記入されているか確認し、解説します。
- ⑥ 可能であれば、英作文における引用の仕方について簡単に触れてください。

Section 1

[Step 1] (1) c (2) d (3) c (4) c (5) d

[Step 3]

[A] ～ Mr. Goodman, who is a researcher (at Ikebukuro Education Institute), said in ～

[B] ～ Daily Ikebukuro, (published on) April 1st, 2011, "(quote) based on ～

Section 2. Indirect Quotation (間接引用) 10分程度 + 20分程度

【Step 1】

- ① 教科書p.38 [Step1]を開かせ、まずVocabulary List を口頭練習し、意味を確認させます。右の p.39は見ないように言います。
- ② リスニング課題を説明し、同じページの4つのグラフに目を通させます。
- ③ p.39のスピーチスクリプトを教員が1回読みます。
- ④ 近くの生徒と解答を比べさせます。
- ⑤ 教員がスクリプトをもう一度読み、解答を確認します。

【Step 2】

- ① [Step 2]の部分を用いて、間接引用に関するルールを説明します。また、p.80を見せ、証拠カードの書き方も説明します。
- ② [Step3]の部分を使い、今回だけ証拠の創造（正確には捏造）を許し、証拠を用意するよう指示を下さい。
- ③ p.41の証拠カードに記入させます。
- ④ 証拠カードをペアで交換させ、書き方のルールに従っているか確認させます。

Section 3. Doubting the Evidence (証拠を疑う) 1コマ + 15分

【Step 1】

- ① p.37のコピーを配ります。宿題として、p.37の指示に従い、証拠を含む部分的な否定側立論（議論の3要素のうち1つだけ）を書くように指示を出します。
- ② 時間の余裕があれば、教員が原稿の添削をし、書き直しをさせます。
- ③ グループ内で発表練習をさせた後に、時間の余裕があればクラスで全員に発表させます。

【Step 2】

- ① p.42の表現を口頭練習させます。
- ② 前半で作成したスピーチ原稿を用意させ、ペアを組ませます。
- ③ 1人が原稿を読みます。ただし、読み上げる人は証拠に関して何らかの情報を意図的に言い忘れます（事前にどの情報を隠すか決めさせます）。その後で、もう1人がp.83の表現を使って質問をします。
- ④ 同じペアで、役割を変えて同じ事をさせます。
- ⑤ ペアを変え、何度か練習させます。

C) 留意点

■ 日本語で書かれた資料を使い、証拠カードを作る場合

使いたい証拠が英語で書かれていれば、そのまま書き写させる事ができますが、日本語で書かれている場合は英訳する必要があります。英訳をさせる場合、表現が難しくなったり、本当に直接引用で用いてよい精度の訳であるのか問題があります。そのため、直接引用ではなく、「quote / unquote」を使わない要点だけを簡単な英語で述べる、間接引用の形にさせた方が良いでしょう。

■ 評価に関して

Section 3の Step 1は、証拠の用い方と話し方に関して評価をするための課題です。日程的に余裕がない場合は、直接引用の証拠を用いて発表させて下さい。

教科書では「証拠を探す」と指示がありますが、生徒の負担を踏まえ、今回だけ証拠を創造（捏造）しても良いと指示して構いません。その場合は、実際の試合では決して許されないと強調して下さい。

■ リサーチ方法に関して

証拠の探し方に関しては、図書館指導と合わせて行って下さい。参考として、グループごとに Book 1の「Lesson 9. リサーチの仕方」のコピーを配布しても良いでしょう。ただ、現在では生徒も主にインターネットを使った情報検索について詳しくなっています。特別な指導をせずとも、おそらくは調べることが出来るのではと思います。大会に出場する上では証拠集めは大切ですが、授業ではリサーチ指導は補足的に行って下さい（例えば、資料を引用したければ、Japan Timesなど英字新聞の記事からのみ持ってくる。資料調べに時間をかけすぎないこと、など指示を出しても良いでしょう）。

【テキスト Part 2.5 について】

今後試合をするために、立論スピーチを書かせます。4 つのトピックについて一度に書かせるのではなく、少しずつ取り組ませても構いません。証拠の引用については、あまり調べることに時間をかけすぎないように注意する必要があります。

こちらで扱われている4 つのトピックはそれぞれ「堅いトピック」であるとも言えます。話しやすい、より日常的な語彙を使わせるトピックを用意しても良いでしょう。

C) 留意点

■ 試合中の証拠の引用について

証拠の使い方を学んでいるので、引用をすることはできます。ただし、スピーチ時間も短いので、必ず何か証拠を用意して引用すること、という指示は出さない方が良いでしょう。

■ 評価について

試合を通して生徒の評価をすることは、現実的ではありません。筆記試験の形で、その場で議論を1つ読ませ、それに対する反論を書かせるなどが良いでしょう。

■ クラス内試合の発展的行事について

特に成績の良かったチームをクラス代表として、クラス対抗戦をする機会を特別活動の時間などで設けると、より英語ディベートに対する学校内の認識と、他学年の生徒の動機付けが高まると思います。スピーチ発表といった個人としての作業だけでなく、チームとして鍛えた英語力を表彰される機会をぜひ設けてください。

【これ以降の指導について】

- ・課外活動として英語ディベートを続けたい生徒には、高校生向けの大会がいくつか開催されていることを教えてあげてください。調査型も即興型も、それぞれこの10年間で高校生向け大会が定期的に開催されるようになりました。
- ・英作文の授業、またリーディングの授業で、ぜひ英語ディベートを通して学んだスキルをさらに伸ばしてください。生徒にも、英語ディベートの授業で学んだスキルは、様々な場面で応用することができると繰り返し説明をすると良いでしょう。

【巻末資料について】

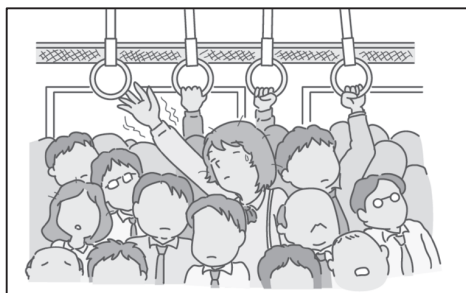
- ・巻末資料の1つ「授業で使える Short Debate」とほぼ同じ形式が使われている練習大会も、各地で開催されています。ぜひこちらを部活動などでお使い下さい。
- ・巻末資料には、日本語ディベート用のハンドアウトが含まれています。英語の授業ないだけで終えずに、ぜひ他の教科でもディベートを取り入れてみてください。
- ・2種類の英作文日記帳を資料に加えました。授業に平行して、ただの日記以上に生徒に楽しく書かせる活動もぜひさせてください。また、生徒が書いたものは、生徒同士で読ませ、付属の「交換日記表」を記入させると良いでしょう。

■ Lesson 6. 証拠を用いる (Using Evidence)

[Sec. 1] 直接引用 (Direct Quotation)

■ Step 1 聞いて答えよう

Your teacher will make an argumentative speech with evidence. Listen and answer the questions below. You will listen only once. 先生が証拠付きの立論を読みますので、聞いて正しい答えを選びなさい。



- (1) Who is Mr. Goodman?
a. a doctor b. a university professor c. a researcher d. no information
- (2) When did Mr. Goodman make the comment?
a. in 2001 b. in 2006 c. in 2010 d. no information
- (3) Where was the second evidence taken from?
a. from a magazine b. from a website c. from a newspaper d. no information
- (4) When was the second evidence published?
a. in 2003 b. in 2005 c. in 2008 d. no information

■ Step 2 直接引用の用い方

When you quote someone's words, you need to follow the rules summarized below. 誰かの言葉を引用する場合、以下の決まりに従って下さい

(1) 出典の示し方 How to show the source of information

A) [専門家の意見の引用]

If it is an expert's opinion, you need to tell:

- ① His or her name (その人の名前)
- ② His or her position (肩書き) (e.g. university professor など)
- ③ The year the statement was publicized (その発言の公表年)

e.g. Mr. Brown, who is a researcher at Peanuts Research, said in 2011, “～.”

「ピーナッツ研究所のブラウンさんは、2011 年にこう述べています。～」

B) [新聞・雑誌記事の引用]

If it is an article from a newspaper or a magazine, you need to tell:

- ① the name of the magazine or newspaper (雑誌や新聞の名前)
- ② the date of publication (出版日)

e.g. According to New York Times, January 21st, 2011, “～.”

「2011 年 1 月 21 日の 1 ニューヨークタイムズによると、『～』」



(2) 直接引用の決まり Rules on direct quotation

- Copy the words from the source. (資料の必要な部分を、一語一句コピーして下さい)
- When you use direct quotations in your speech, say “quote” at the beginning and say “unquote” at the end of the quotation. (コピーした文を読み始める際には、“Quote”と宣言し、読み終えた際には“Unquote”と言ってください)



■ Step 3 引用を直す

Fix the following quotations you have heard by taking necessary information from the evidence cards in the next page. 次ページの evidence card を参照しながら以下のスピーチの引用部分に不足している情報を補いなさい。

【Quotation A】

Let me quote what Mr. Goodman said in 2010: “(quote) people who are forced to keep standing in crowded trains are both mentally and physically exhausted, which will affect their performance. In short, they cannot make the most of their ability. (unquote)”

【Quotation B】

According to Daily Ikebukuro, “(quote) based on the studies available so far, we can conclude that morning persons are more likely to be attentive to lessons in the morning than night persons.(unquote)”

■ Step 4 スピーチに証拠を入れる

What has been lacking in your constructive speeches so far is evidence. You are going to learn to put evidence into your speech in the rest of this section. これまでの立論には証拠が欠けていました。これから証拠の入れ方を学びます。

Your task here is to make (or imagine) one piece of evidence that will fit into your speech. Based on that information, prepare one evidence card. You should refer to the instructions on how to write an evidence card in the next page. When you have finished writing the evidence card, underline where you put your evidence in your speech and write (E) at the end of that part.

自分のスピーチ(否定側立論です)に当てはまる証拠を1つ考え、次の指示に従ってエビデンスカードを完成させなさい。また、立論スピーチの原稿のどの場所に組み入れるか、その箇所に下線を引き、最後に (E) を書きなさい。

[Evidence card]

Card Number (1)

1) そのカードの通し番号を書きます。

Claim (主張)

People in crowded train

2) 後でカードを見返した時に内容がすぐ分かる様に、この証拠を整理する上での要旨・ラベルをつけます。

Author

1) [論文または署名入りの記事、書籍からの場合]

Let me quote what

Mr. GOODMAN, who is a researcher at Ikebukuro Health Center,

4) 筆者の肩書きを入れます。

3) 筆者の名前を入れます。

5) 発言が出た年を書きます

said in (2010).

*5) 新聞記事の場合はpublished on
という表現を省略して構いません。

2) [署名のない雑誌・新聞記事などからの場合]

According to _____, (published on) () (), (),

*3) 新聞・雑誌などの名前を入れます。

*5) その出版日(雑誌の場合は月と年)

Quotation (引用)

(omitted for space availability スペースの都合上省略します)

6) 資料から証拠として用いたい箇所をここに書き写します。

7) ここに、より細かい出典を書きます。本であれば、「①本のタイトル、
②出版社、③出版年度、④引用した箇所のページ番号」を書き込みます。
署名のない雑誌・新聞の記事であれば、「①雑誌・新聞名、②出版年度
または出版の日付、③引用した記事のあるページ番号」を記します。

Source (出典)

Goodman, Benny. / researcher at Ikebukuro Health Center /
Issues in Health Reform in Tokyo /
2010 / Ikebukuro News Press / p. 34

[Evidence card]

Card Number (2)

Claim (主張)

If we come to school earlier. we can concentrate more on our study

Author

2) [署名のない雑誌・新聞記事などからの場合]

• According to ...Daily Ikebukuro...

(published on) (April) (1st), (2013),

Quotation (引用)

(omitted for space availability スペースの都合上省略します)

Source (出典)

Daily Ikebukuro
April 1st, 2011 / p. 3 / editorial

【Lesson 6. Sec 1】 (page 9 のものと比べてみましょう)

Speech Script	
Hello everyone. Today, I want to argue that the first period of our school should start at 7:30.	
I have one reason.	
It is “comfortable school life”. Let me explain.	
<div>Problem</div> <div>Solution</div> <div>Importance</div>	<p>We have a problem. As you know, when we come to school, most of us have to keep standing in crowded trains with a heavy bag in our hand and <u>we get very tired.</u> ⑤</p> <p>Let me quote what Mr. Goodman, <u>who is a researcher at Ikebukuro Health Center,</u> said in 2010: “(quote) people who are forced to keep standing in crowded trains are both mentally and physically exhausted, which will affect their daily performance. In short, they cannot make the most of their ability. (unquote)”</p>
	<p>Then, if we introduce this plan, we can solve this problem as follows.</p> <p>If the first period starts at 7:30, most of us will leave home around 6. Trains are not crowded around that time and we may be able to take a seat all the way to school. We can breathe cleaner air and be relaxed on the train.</p>
	<p>This point is important because <u>if we come to school earlier, we can study in good condition and we can concentrate more on our studies.</u> ⑤ <u>I will give you one piece of evidence.</u> According to <i>Daily Ikebukuro</i>, <u>published on April 1st, 2013,</u> “(quote) based on the studies available so far, we can conclude that morning persons are more likely to be attentive to lessons in the morning than night persons.(unquote)”</p>
For this reason, we should take this plan. Thank you.	

■ Step 5 証拠つき部分的スピーチの準備

Check your partner's evidence card and see if the requirements are all met. Copy part of your speech and evidence in the forms on page 37. パートナーとエビデンスカードを交換して、パートナーのカードが求められている情報を全て過不足無く含んでいるかどうか確認して下さい。そののち p37 に、証拠をつけた部分のスピーチおよび証拠を書き写し、上の例に基づいて読む練習をしましょう。

(記入例が p.43 にあります)

Evidence card (直接引用)

Card Number ()	
Claim (主張)	<p>.....</p> <p>.....</p>
Author (著者)	<p>1) [論文または署名入りの記事、書籍からの場合]</p> <p>・ Let me quote what, who is....., said in ().</p> <p>2) [署名のない雑誌・新聞記事などからの場合]</p> <p>・ According to, (published on), () (), (),</p>
Quotation (引用)	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>読み上げる際には、引用の初めには quote(引用開始)、終わりには unquote(引用終了)と加えて下さい。</p>
Source (出典)	

Check List

☐ 原文が英語であれば、間違いなく書き写した。原文が日本語であれば、元の意味を曲げることなく英語に訳した。

☐ 著者の真意をねじ曲げることなく、適切な箇所を最低限の長さで引用した。

☐ 第3者が改めてその情報源にたどり着き確認できるよう、必要な出典をメモした。

Class: _____ Student No.: _____ Name: _____

Due date: / /

HW③ Neg Const. (partial speech with evidence)

Speech Script	
Hello everyone. Today, I <u>strongly disagree</u> that	
.....	
The disadvantage is ".....".	
I will only explain its [present situation / causal link / seriousness].	

That's all. Thank you.	

Part 2

*上のスピーチ原稿内で、下の証拠を挿入する箇所に (E) の記号を記すこと。

【Evidence Card】

Claim (主張)	
*ここは証拠の整理用のラベルを入れる箇所です。ここ部分の内容は読み上げません。	
Author (著者)	
Quotation (引用)
Source (出典)	

読むのにかった時間 : [] seconds (45 秒前後で終わるように調整すること)

Class: _____ Student No.: _____ Name: _____

[Sec. 2] 間接引用とグラフ (Indirect Quotation & Graph)

■ Step 1 聞いて答えよう

Your teacher will make another argumentative speech with evidence on the same plan. This time the speech is from the negative side. Listen to the speech and answer the questions below. これから、前と同じプランについての否定側立論を聞きます。以下の質問に教えてください。

Plan (政策): The first period of our high school should start at 7:30.

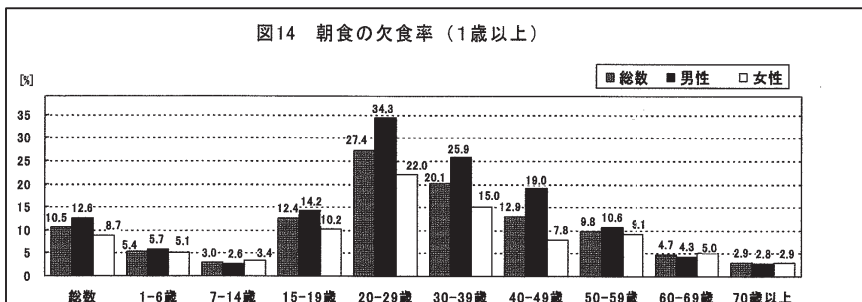
Vocabulary List

pie graph: 円グラフ bar graph: 棒グラフ

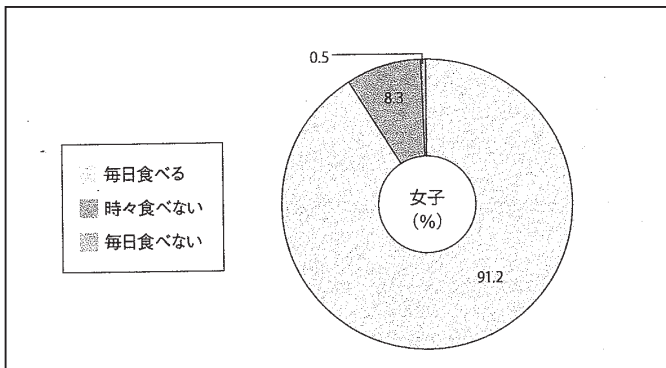
1) Put the following data in order as referred to in the speech.

Answer: () ⇒ () ⇒ ()

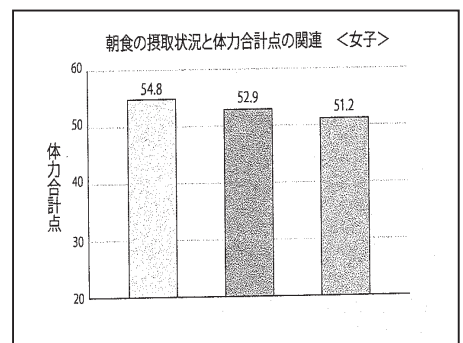
Data A



Data B



Data C



2) What is the signpost for the disadvantage?

It is "() () ()".

3) If we introduce the plan, what problem will we have?

We will () () ().

【Lesson 6 Sec 2】Negative Constructive

Speech Script		
Hello everyone. Today, I strongly disagree that the first period of our school should start at 7:30.		
I have one disadvantage.		
The disadvantage is “unhealthier life style”. Let me explain.		
	Present Situation	At present, as school starts at 8:30, <u>most of us have enough time to have a good sleep and eat a healthy breakfast.</u> (E) Please take a look at this pie graph. According to <i>The Survey on The Eating Habit and Physical Strength</i> , published in 2009, more than 90% of the students at our school eat breakfast every day. <u>This is very important for our health.</u> (E) According to this article, the majority of Japanese doctors believe that breakfast is the most important meal of the day and is essential for a healthy life. In fact, most of us eat breakfast every day and are leading a healthy life. We have no problem on this point.
	Causal Link	However, if we introduce the affirmative plan, we will have a problem. <u>If we have to wake up earlier, many students will skip breakfast to sleep a little longer.</u> (E) Please take a look at this bar graph. According to <i>Healthy Japan 21</i> , published by *MIC in 2010, we can see that people between 20 and 50 tend to skip breakfast, which tells us that busy people are likely to skip breakfast in order to have enough sleep. <u>If we skip breakfast, we will lose our physical strength.</u> (E) Please look at this bar graph below. According to the same survey, the average physical strength of the students who do not eat breakfast every day is clearly lower than those of the other two groups.
	Seriousness	This is a serious problem. If students have an unhealthier life, they will become physically weak, and in the future they will have many health problems. High school students represent the future of Japan. They should grow up in good circumstances.
So their plan will do us more harm than good. We strongly believe that we should not start the first period at 7:30. Thank you.		

note: MIC 総務省

■ Step 2 グラフに関する表現

全般に関する表現

表: table 線: line 曲線: a curved line グラフ: graph

⇒ 棒グラフ: a bar graph 円グラフ: a pie graph 折れ線グラフ: a line graph

数値: number 量: amount 割合・率: percent

上のグラフ・下のグラフ: the graph [above / below]

右のグラフ・左のグラフ: the graph on the [right / left]

ご覧の通り、～: As you can see, ～.

このグラフは、～を示しています: This graph shows that ～.

グラフの描写 (数値の増減)

$$\left(\begin{array}{l} \left\{ \begin{array}{l} \text{The number of } \sim \text{ } \langle \text{可算名詞} \rangle \\ \text{The amount of } \sim \text{ } \langle \text{不可算名詞} \rangle \end{array} \right\} \\ \left\{ \begin{array}{l} \text{is [increasing / decreasing].} \\ \text{has [increased / decreased] by } \sim . \end{array} \right\} \end{array} \right) \begin{array}{l} \langle \text{増加・減少し続けている} \rangle \\ \langle \sim \text{だけ増加・減少した} \rangle \end{array}$$

[増減の程度を示す副詞]

slightly: わずかに slowly: ゆっくり gradually: だんだんと

⇔ considerably: かなり sharply: 急激に rapidly: 急速に

[増減を表す他の動詞]

rise ⇔ fall, drop go up ⇔ go down

remain almost the same: 同じままだ

～ was at its [highest / lowest] in … : ～は…で最も高かった(低かった)

[変化の時間的推移を示す表現]

start to ～ : ～し始める continue to ～ : ～し続ける

from ～ to … : ～から…まで until ～ : ～まで(継続して)

over the last ～ years: 過去 ～ 年にわたって

グラフの描写 (割合)

- ～ account for X percent of the … : ～は…のXパーセントを占める
- ～ represent X percent of the … : ～は…のXパーセントを占める
- 分数の表し方: 分子は基数 (one, two, three, ...) 分母は序数 (first, second, third,...)
⇒ 分子が2以上の数字の場合は分母が複数になります。
e.g. $2/3 = \text{two thirds}$ $1/5 = \text{one fifth}$

Part 2

Check List

- Class: _____ Student No.: _____ Name: _____

[Sec. 3] 証拠の信用性を問いたす (Doubting the credibility of evidence)

Just using a piece of evidence does not guarantee that the claim supported by the evidence is true. You need to evaluate how the information presented by the opponent is trustworthy by asking questions. The last section of this lesson is devoted to the practice of this type of questioning. 何らかの証拠を使ったからと言って、必ずしもそれで主張が証明されたとは限りません。このセクションでは、相手チームから提示された証拠の信用性を問いたす質問を練習します。



■ Step 1 証拠のある否定側立論の準備

Take out the negative constructive speech you wrote on page 24. Explain only one of the three elements of a disadvantage, or "present situation", "causal link", and "seriousness". Make out a piece of evidence that supports your disadvantage either in a persuasive or in a funny way. Make sure to finish the entire speech in 45 seconds. 25 ページに書いた否定側立論の原稿を用い、その3つの構成要素のうちどれか1つだけを抜き出して、その証拠を1つ作ってください。今回は架空のものでかまいません。説得力がありそうな面白いものを考えて、全体を45秒で終わるようにしてください。また、スピーチ中で証拠を入れる箇所に、E というマークを入れて下さい。用紙は、p.37 のものをまた使います。

■ Step 2 証拠についての質問

Make a group of four. One person delivers his or her prepared speech. Then, other three students ask questions on the evidence. Practice the useful expression shown below. When finished, another member will make a speech and others ask questions on evidence again. Continue until everyone has made their speech. 4人組を作ってください。1人がStep 1で用意したスピーチを発表し、残りの人はそのスピーチで使われた証拠に対して質問をします。下にある表現集を使い、全員が1度スピーチを読み上げる役割を終えたら終了です。

Expressions to ask questions on evidence(証拠に対する質問の表現集)

【A. 証拠の有無を確かめる】

・ You said _____ , but do you have evidence?

【B. 引用された人物の信頼性を確かめる】

<発言を引用された人物が何者か、説明されなかった場合>

・ You quoted the words of _____ , but who is [he / she] ?

<発言を引用された人物が、本当にその分野で権威があるのか疑わしい場合>

・ You quoted the words of _____ , but is [he / she] truly an expert of that field?

【C. 証拠がいつ出版・公表されたか確かめる】

<引用された証拠がいつに出版・公表されたものが明かされなかった場合>

・ You quoted [the evidence from _____ / the words of _____],
but when was it published? [↑引用された雑誌・新聞名、または著者名を入れます]

HW③ Neg Const. (partial speech with evidence)

Due date: / /

Speech Script

Hello everyone. Today, I strongly disagree that

Donald Trump should be the president of the U.S.

The disadvantage is "Starting WWII".

I will only explain its [present situation / causal link / seriousness].

Under the current situation, our society is mostly peaceful. There are no major world wars between powerful countries. ⑤

That's all. Thank you.

*上のスピーチ原稿内で、下の証拠を挿入する箇所に⑤の記号を記すこと。

[Evidence Card]

Claim (主張)	There are no major wars. X
Author (著者)	Let me quote what Mr. Nobel, a politics professor at Harvard, said in 2016. ④
Quotation (引用)	(Quote) Now, there are no wars between politically powerful countries. The major powers have built good relationships since the end of WWII. (unquote). ⑤
Source (出典)	Nobel, Percy. / Professor at Harvard / Politics Today 12016 / University Press. / p. 192 X

読みのにかかった時間: [] seconds (45秒前後で終わるように調整すること)

HW③ Neg Const. (partial speech with evidence)

Due date: / /

Speech Script

Hello everyone. Today, I strongly disagree that

Donald Trump should be the president of the U.S.

The disadvantage is "Starting WWII".

I will only explain its [present situation / causal link / seriousness].

Mr. Trump doesn't like most foreign leaders. ③ He will fight with them and cause them to attack. ⑥ This will surely start WWII. ⑦

That's all. Thank you.

*上のスピーチ原稿内で、下の証拠を挿入する箇所に③⑥⑦の記号を記すこと。

[Evidence Card]

Claim (主張)	Mr. Trump hates everyone! X
Author (著者)	According to The New York Times, published on April 1st, 2016, (Quote) Many world leaders were surveyed. ④
Quotation (引用)	and most responded that they hate Mr. Trump. ⑤ In fact, Prime Minister Abe of Japan said that Donald Trump called him Mr. Potato Head. (unquote)
Source (出典)	The New York Times / April 1st, 2016 / p. 4E / Politics X

読みのにかかった時間: [] seconds (45秒前後で終わるように調整すること)